## ニーズ提供者の情報

| 組織名 | 南相馬市農政課           |           |  |
|-----|-------------------|-----------|--|
| 住所  | 福島県南相馬市小高区本町二丁目78 |           |  |
| 属性  | ■地方自治体            | □地方独立行政法人 |  |
|     | □非営利法人            | □営利法人(企業) |  |
|     | □その他( )           |           |  |
|     |                   |           |  |

# ニーズの概略

| 解決したい課題の分野 | ■水産(漁船漁業)             |             | ■インフラ管理     |
|------------|-----------------------|-------------|-------------|
|            |                       | □環境・海洋ごみ    |             |
|            | □災害対策                 | □離島物流       | □その他<br>( ) |
|            |                       |             |             |
| 何をしたいか     | ■画像・動画撮影              | ■計測・診断      | □採捕・採取      |
|            | □モニタリング               | □運搬         | □清掃         |
|            | ■その他<br>(魚の追い込み、追い払い) |             |             |
|            |                       |             |             |
| 得たい効果      | ■業務効率化                | □業務コスト低減    | □危険業務回避     |
|            | ■業務高度化                | □新規事業創出     | □精度向上       |
|            | □脱炭素等の環境対応            | □その他<br>( ) |             |

### 海の次世代モビリティを求める背景・ニーズ

#### 【水産業】

- 河口や海中の水深や堆積物の状況を確認したい。堆積物によって水深が浅くなることで、引き潮の際に船底が接触しそうな 状況になっていることを、福島県に工事を依頼する際の材料としたい。現状では、船底が接触してから工事を行っているが、 そうなる前に工事を実施したい。また、船の航路の深度の計測ニーズも漁協から挙がっている。
- 秋鮭の捕獲量が平成18年度のピークから98%減っている。原因は海洋環境の変化(稚魚の捕食者(サバ)の増加など)で、全国的に鮭の捕獲量が減少している状況。そのソリューションに海の次世代モビリティが活用できないか。鮭を効率的に捕獲するために、物理的・音波による鮭の網に追い込み、鮭の生育環境保全(捕食者が嫌がる音波を発振)、鮭の養殖(陸上養殖)への活用、などがありえる。

### 【海難救助】

• 漁船が海で転覆した、一般の釣り人が堤防から落ちた、海水浴客が流された、といったときに、漁船の操業を止めて捜索を行っている。現状では、船の上からの捜索なるので、海中の状況はわからない。海の次世代モビリティを活用して、海中を探すことができれば、早期発見につながる。